

市民懇談会の開催結果

市民懇談会の概要

開催日時：令和5年（2023）年2月4日（土）午前9時30分～午後0時30分

場所：守山市民交流センター

申込者数：23名

当日の参加人数

- ・ **参加者：17名**（6名欠席）
+ ファシリテーター 9名

➡ **4グループに分かれて議論**

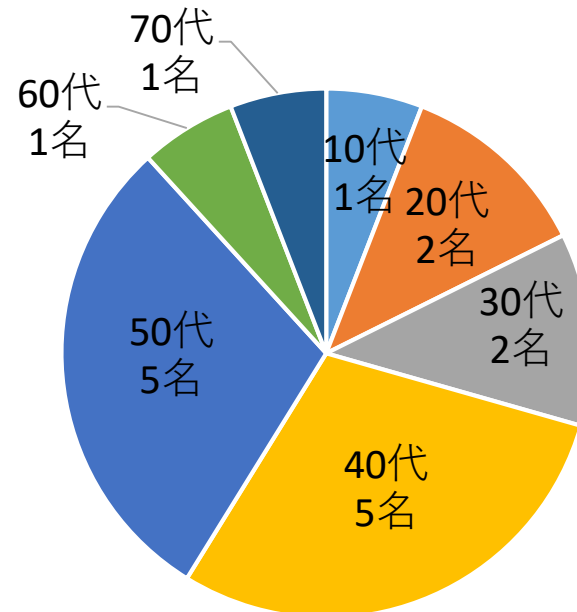
（1グループあたり4～5名
+ ファシリテーター2名）

- ・ 他 傍聴者：2名

* 参加者の抽出方法

無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人に案内を送付

参加者の年齢構成



市民懇談会の概要

テーマ

『2050年の守山の未来像 守山の環境について夢を語ろう』

<参加者への趣旨説明>

- ・近年、地球温暖化対策や生物多様性保全の重要性が高まっている。
- ・特に地球温暖化は、世界各地に様々影響を及ぼし、2050年までに脱炭素社会を実現することが国際社会でも大きな課題となっている。
- ・その実現に向け、地球規模から日常の市民生活まで、できること・やるべきことを考え、取組を進める必要がある。
- ・市民の皆様が考える「2050年の守山市のありたい姿」を、次期環境基本計画の策定に活用することを目的に、市民懇談会を開催した。

<配布資料> ※本資料p.9～参照

参加者

- ・市民懇談会開催に際して実施した守山の環境に関するアンケート結果
- ・守山市の概要とこれまでの環境への取り組み

市民懇談会の概要

<当日の流れ>

1. 開会式
2. アイスブレイク
3. ワークショップ
 - Step 1 : 身近に感じる環境の変化について (20分間)
 - Step 2 : 2050年の未来に守山の環境はどうあってほしいか (35分間)
 - Step 3 : 将来への希望・目標を実現するため、何ができるか (35分間)
4. 発表
5. 閉会式



将来の姿に関する主な意見

Step2は、守山市のありたい姿に直結するお題。

下線：特に将来の守山の姿や環境ビジョン(将来像)に関連する長期的な視点から見た意見

分野：自然

Step1（環境の変化）	Step2（2050年の守山）	Step3（何ができるか）
<ul style="list-style-type: none">琵琶湖が汚れている湖岸の水草の異常繁茂琵琶湖で獲れる湖魚が減った川がコンクリートで固められて自然の風景が少なくなったヌートリアがいるホタルが減っている住宅が増えて、田んぼが減った	<ul style="list-style-type: none">身近なところに自然がある暮らしをしている<u>新しい技術を取り入れつつ、田園風景も残っている</u><u>環境保全と住みやすさが両立している</u><u>自然を活かした快適な暮らしができています</u>地元の農産物の種類や量が豊富（地産地消）	<ul style="list-style-type: none">外来種を食用に活用する耕作放棄地を家庭菜園用に借りられる仕組みをつくる

将来の姿に関する主な意見

分野：地球温暖化対策

Step1（環境の変化）	Step2（2050年の守山）	Step3（何ができるか）
<ul style="list-style-type: none">・ 気温の上昇を感じる・ 夏が長くなった・ 大雪が降った/雪が少なくなった・ 豪雨が増えた・ 車の交通量が増えて渋滞するようになった・ エコバックやマイボトルを持つ人が増えた	<ul style="list-style-type: none">・ <u>新しい技術を取り入れつつ、田園風景も残っている</u> [再掲]・ <u>エネルギーを自宅で作ったり、自給自足で賄える</u>・ <u>市バスなどの公共交通機関が充実し、自家用車の利用が抑制されている</u>・ <u>電気自動車や水素自動車に乗っている</u>・ 広い道路やバイパスがつくられている・ 地元の農産物の種類や量が豊富（地産地消） [再掲]	<ul style="list-style-type: none">・ 太陽光発電などの補助金を活用する・ 電気の使い過ぎを見直す・ 家の窓を二重サッシにする・ 車を使う時間を減らす・ 自転車や徒歩での移動を増やす・ プラスチック製品は極力もらわない・ 紙の使用を減らす・ 地元産農産物を購入する・ 不要なものは買わない

将来の姿に関する主な意見

分野：資源循環

Step1（環境の変化）	Step2（2050年の守山）	Step3（何ができるか）
<ul style="list-style-type: none">・ごみのリサイクルが行われるようになった・ごみの分別が進んだ・ポイ捨てが多い	<ul style="list-style-type: none">・<u>生ごみをリサイクルできる仕組みが</u>できている	<ul style="list-style-type: none">・生ごみ処理機を買う・お米と生ごみを交換できる仕組みをつくる・生ごみをバイオマス発電の燃料にする

分野：住環境

Step1（環境の変化）	Step2（2050年の守山）	Step3（何ができるか）
<ul style="list-style-type: none">・雑木林が減った・外で遊ぶ子供が減った	<ul style="list-style-type: none">・<u>観光地にはならず、緑豊かで暮らしやすい</u>・市街地や駅前にも緑が充実している・<u>環境保全と住みやすさが両立している</u> [再掲]・<u>自然を活かした快適な暮らしが</u>できている [再掲]・<u>歴史的な街並みや風景が</u>残されている	<ul style="list-style-type: none">・空き家を地元の野菜売り場として活用する・自宅で植物を育てる

将来の姿に関する主な意見

分野：情報発信、その他

Step1（環境の変化）	Step2（2050年の守山）	Step3（何ができるか）
<ul style="list-style-type: none">・ホタルを守る活動が行われるようになった・市のイベントが少なくなった・地域の環境活動に参加しやすくなった	<ul style="list-style-type: none">・環境を守るための対策がたくさん実施されている・市民の環境への意識が向上している・意見を出せる場が多くある・地域の人と助け合う関係性ができている	<ul style="list-style-type: none">・伝統を継承する人材の育成・環境保全活動に積極的に参加する・マルシェなどで環境のことを知ってもらう・環境によいモノや行動、活動をSNSなどで発信する・他の地区の人とも情報共有ができる仕組みをつくる

まとめ

- ・ Step2(2050年の未来に守山の環境はどうあってほしいか)で出た意見を踏まえ、次期環境基本計画のビジョン(将来像)を打ち出していく。
- ・ Step3（将来への希望・目標を実現するため、何ができるか）で出た意見は、施策の方向性や具体的取組などを検討する際に活用する。

【参考】
参加者への配布資料